

2007年、春。

中学生たちの夢は動き始めた。

F1 が走るあの鈴鹿サーキットへ向けて。

そして2008年、夏。

中学生たちは夢の舞台へ。

灼熱の鈴鹿サーキット、4時間耐久レース。

ソーラーカーのコックピットは45°Cにもなった。

結果は、決勝51台中44位。

モータートラブルによるピットインで大きなタイムロス。

彼らは納得していない。

いや、まったく満足していない。

中学生たちは、次のレースに向かってすぐに動き始めた。

国際自動車連盟公式競技大会

FIA ALTERNATIVE ENERGIES CUP

「Dream Cup ソーラーカーレース鈴鹿2009」

へ向かって。

